

東北日報

刊休無中
日新報社
石城郡
平野町
電話
七三〇

石城郡内の ビール栽培

キリンビール會社と 契約して獎勵に努む

石城郡農會では石城郡下農即ち各村の契約決定数は
村の副業獎勵に努め地方農好開村 早生 五反 奥 五反
村の向上を劃する一方法と植田町 同一町 五反 同
して東京キリンビール會社平窪村 同 五反 同 五反
とビール麥の契約栽培をなす大浦村 同一町 二町一
すべく準備中である事既報飯野村 同 五反 同
の如くで契約栽培委員會を神谷村 同 五反 同 五反
開催し契約に對する種々の夏井村 同 五反 同
協議中であつたがさし當り 錦村 同 二反 同
今年度に於いては次の各村警備村 同 〇同一町二反
に於いて契約栽培を試み成赤井村 同一町 二斗四升
續の良否を見て來年度の準同 村 同 一反五畝
備に取りかゝる事となつた

置さわすれた大金を 盗まれたと届出る

おまけに他人へ盗人の嫌疑かけ 平署から大目玉を頂戴

石城郡湯本町吹矢飲食店伊爲の平署ではタマを被疑者
藤屋事黒澤キチ(五五)は去として召喚嚴重取調中であ
る四日午後〇時から同三時つた處十一日に至りキチは
ころ込の間に自宅戸棚に入固現金を自分の日記帳の中
れて置いた現金四百十圓がにしまし忘れていた事を發
紛失してあるのを發見驚い見し平署に届出たので平署
て平署に窃盜の届出をなしても全く呆然としたが自分
紛失した當時同郡小名濱町の粗忽を棚にあげて他人に
の鈴木タマ(四五)假名が居窃盜の嫌疑をかけた云ふ
合せたから或は犯人は他人のキチは十二日平署に呼
でないかと係官に申立てたが出され鯨岡警部補から大

女髮結の情夫 ネコ自殺を企つ

今日眞晝間の出来事 同せいを拒絶された結果

双葉郡廣野村生れ當時平町被疑者として其の筋のお尋
南町女髮結業大和田きよ ね者であつた爲昨午より
(二)内縁の夫茨城縣久慈 行衛をくらましてゐたが十
郡譽田村大字上大門根本伊一日夜遅く一寸歸宅した處
之吉(五五)は十二日午前十キヨから同せいを拒絶され
夫人は今日十二日午前二時女 一時ころ自宅で猫イラズを
兒を分娩したが母子共に健 えん下し覺悟の自殺を遂げ
たが原因は伊之吉が窃盜の たが原因は伊之吉が窃盜の

横山家の 御目出度

河北新報支局長横山顯氏 之吉(五五)は十二日午前十
夫人は今日十二日午前二時女 一時ころ自宅で猫イラズを
兒を分娩したが母子共に健 えん下し覺悟の自殺を遂げ
たが原因は伊之吉が窃盜の たが原因は伊之吉が窃盜の

吾が子の愛にひかされ 極樂浄土へも行かれず

母親夜な夜な人魂となつて現はる 奇怪な噂突如一丁目に立ち

平署で事實を調査中

平町一丁目某商店(特に 妻をたくわい一向に家を二十六日雇はれ先の東京市
名を秘す)の附近に毎夜 かへりぬのを怨み夜な 下谷金杉町土木請負業小野
の如く十時頃より十一時 現はれぬなき愛兒を 寛方から金輪一個價格十
頃まで時をきつて必ず青 育しみに來るとも云はれ 五圓を窃取これを淺草公園
味をおびた一ツの大きな 又近頃の噂さでは現在乳 にて姓不詳の者に三圓で賣
人魂が現はれるので同家 呑兒に等しい幼兒があり 却逃走した事平署で探知十
附近の者や通行人で之れ 死ぬ間際にも母は非常に 一日兩人を逮捕除罪取調中
を目撃した者は全く人魂 その幼兒を殺して死ぬ事 を苦しがつてゐたから多
におびやかされ夜更けに 分幼兒にあひに來るのだ らうと云ふが平署では文
なる近所の者は何れも 明の世にそんな馬鹿げた 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ
と云ふ噂がバツとひろま 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ 或は盗伐等が頻發する季節
り噂は噂を生んで何處へ 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ 或は盗伐等が頻發する季節
行つても此の話をもちき 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ 或は盗伐等が頻發する季節
つてゐる原因は同家の女 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ 或は盗伐等が頻發する季節
將が妊娠七ヶ月の身重で 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ 或は盗伐等が頻發する季節
數人の愛兒を残し死んで 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ 或は盗伐等が頻發する季節
行つたので幼兒にあひに 話もあるまいと事實を調 査する事になつたが何れ 或は盗伐等が頻發する季節
くるのだとも云はれ又半 飯野村字荒川生れ前科一犯 年の如きは百四十町歩を燒
人公は亡き妻に隠れて愛丹野久治(三三)は本年八月き拂ひ一萬二百五十圓は飛

渡邊十太郎

五ヶ月を言渡さる 依頼人の供託金を横領して 其の筋に檢舉され其の後平 區裁判所で審理中であつた モグリ代書人渡邊十太郎に 係る事件は十二日懲役五ヶ 月を言渡されたが同人は右 判決は重いと云ので直ちに 控訴した

上遠野の 長作さん縊死

神經衰弱を苦にし 石城郡上遠野字根岸木宿
業齋藤長作(五二)は十一日 午後十二時ころ自宅裏物置
で縊死を遂げたが原因は神 經衰弱を悲觀しての結果
あると

列車にふれ 行人商惨死

石城郡錦村大字中田魚行商 人大津ヨシノ(五二)は十日
午後四時頃魚カゴを背負つ て同字地内の常磐線々路を
通行中誤つて青森發上野行 の旅客列車に觸れて轢死し
居る

共進會に出品

泉のメロン外數點 石城郡農會では來る十一月
日午前七時五分發で同校 永島教諭と共に出發するが
取引相場高は左の如し
高値 六九、五〇
安値 五一、一〇
買馴 六四、三〇

磐女の排球

選手愈々出發 磐城高等女學校排球部代表
選手の水戸高女遠征は十三 日午前七時五分發で同校
永島教諭と共に出發するが 取引相場高は左の如し
高値 六九、五〇
安値 五一、一〇
買馴 六四、三〇

鮮人同僚を欺く

朝鮮忠清南扶餘郡林川面生 朝鮮人飯場金本又吉(五四)
は去月十八日當時北海道函 館市に居住してた鮮人前田
千吉(三五)外五名に藤原炭 礦迄の旅費二百圓を貸與し
同飯場に住み込ませた處前 記六名は去る五日同郡内郷
村磐城炭礦方面へ無斷逃走 したので金本は非常に驚き
十二日平署に取押へ方を願 出た

獵友會總會

平町獵友會では狩獵解禁日 を目前に控えて三日午前九 時から平署樓上に於いて定 時總會を開催密獵の防止其 の他に就いて協議する事と なつた

市況

四倉南市場に於ける十一日 取引相場及び取引買数は 二百九十二貫七百七十文で 取引相場高は左の如し
高値 六九、五〇
安値 五一、一〇
買馴 六四、三〇

